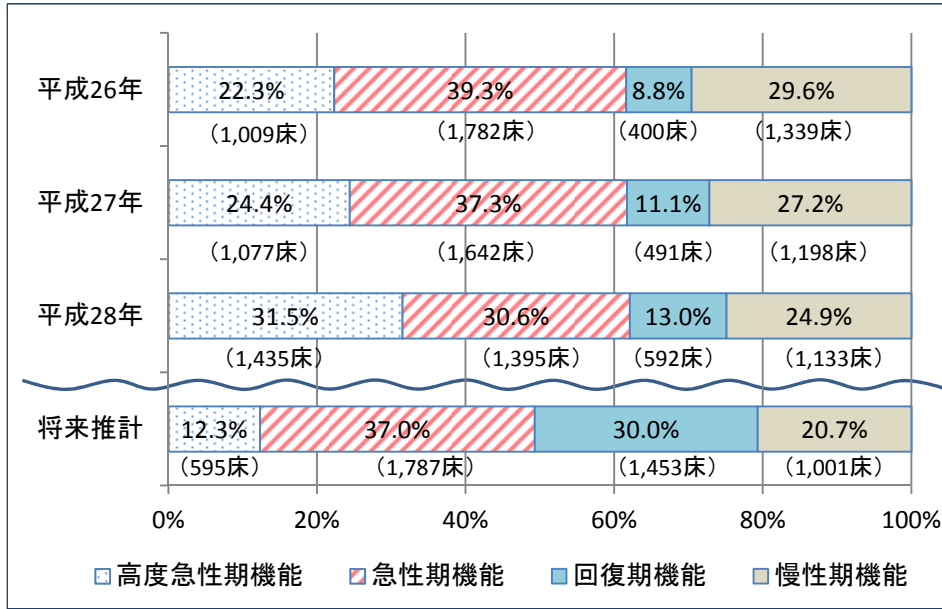
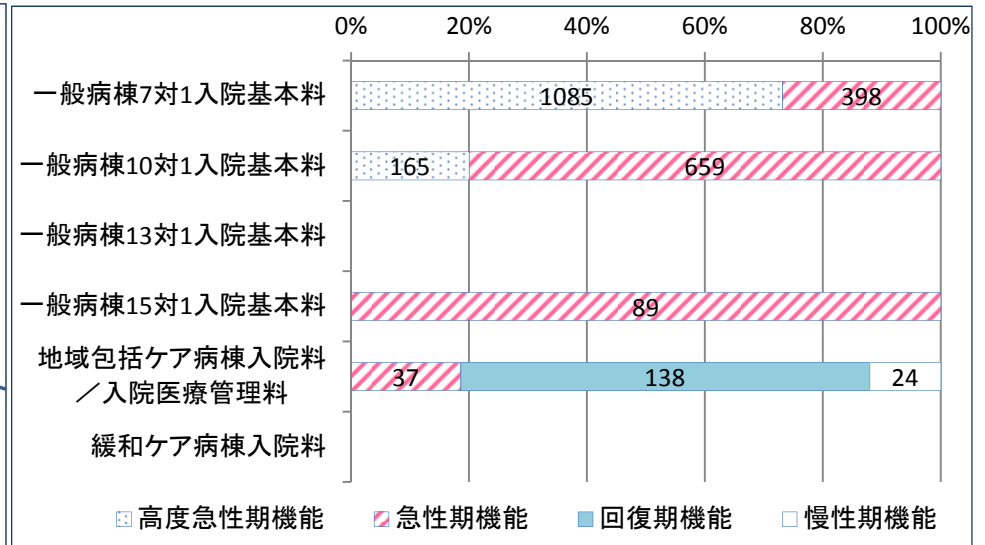


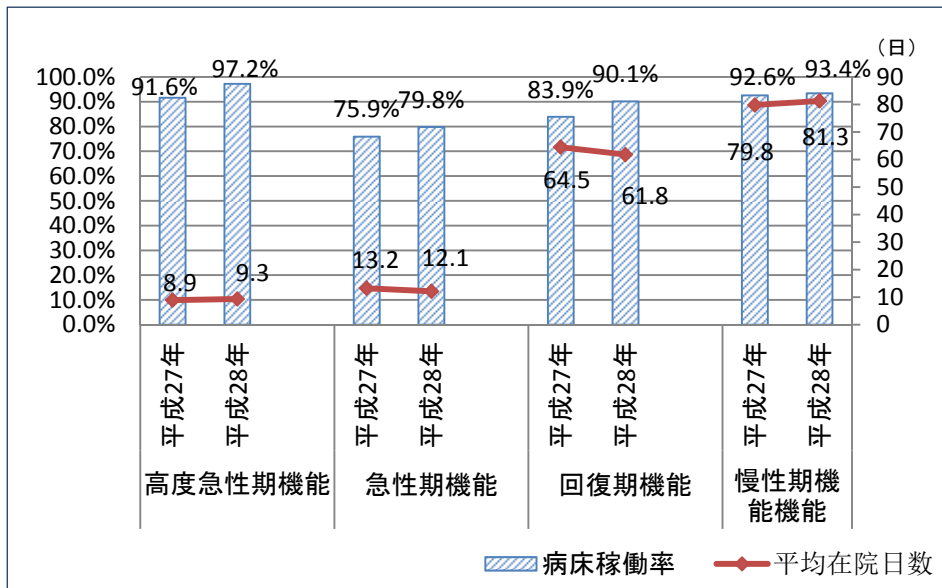
①4機能別病床数の推移(平成26年度～平成28年度)



③入院料×機能



②病床稼働率と平均在院日数の推移(平成27年度・平成28年度)



④退院後1ヶ月以内に在宅医療を必要とする患者の割合

	うち、在宅医療を必要としない患者(死亡退院を含む)	うち、自院が在宅医療を提供する予定の患者	うち、他施設が在宅医療を提供する予定の患者	うち、在宅医療の実施予定が不明の患者
高度急性期機能	7617 (85.7%)	9 (0.1%)	996 (11.2%)	265 (3.0%)
急性期機能	1656 (75.9%)	100 (4.6%)	88 (4.0%)	339 (15.5%)
回復期機能	184 (75.7%)	18 (7.4%)	41 (16.9%)	0 (0.0%)
慢性期機能	81 (20.0%)	165 (40.6%)	35 (8.6%)	125 (30.8%)

⑤退院調整部門を置いている病院の割合 64.0%

- ①H27からH28にかけて、高度急性期機能の増(7:1・10:1病床の増)
- ②急性期・回復期機能において、平均在院日数が短くなり、病床稼働率が上がっている。
- ③7:1・10:1病床において、高度急性期機能での報告割合が高い
- ④全機能を通じて、退院後に在宅医療を必要とする患者の割合が高い